

# 親子でまちの探検家になろう！

平成 28～30 年度に引き続き、夏休みに親子で「景観」について考えていただく親子景観連続講座「親子でまちの探検家になろう！」を実施しました。

今年は、景観をつくるまちについて絵本で理解を深めた後、会場の文京シビックセンターを出発点として、小石川方面を親子で一緒に歩いて回りながら発見をして、それをもとに夏休みの自由研究となるような発表シートにまとめていただきました。

ふだん何気なく通り過ぎているまちでも、探検しながらゆっくり歩くと「面白いものや不思議なものが見つげられること」や、「まちで暮らす人々の協力やアイデアの集合として景観が形作られているのがわかること」など、まちの中の特徴に気づくことができました。

また、発表を通してお互いの発見したことを聞き合って、参加者同士で「発見」をテーマに話し合い、自分の調べたことや考えたことを誰かに伝える良い機会になりました。

## ～開催当日の様子～

### 第 1 回 絵本の読み聞かせとまち歩き



#### 絵本の読み聞かせ

絵本からはいつもあまり意識しない、景観をつくっている「まち」とは何かを感じてもらい、「まち」の構成要素について理解を深めてもらいました。



#### まち歩き

まちを歩きながら、何か「おもしろい、新しい、他とは違う」ことをきっかけに、チェキを使って写真を撮り、まちの発見につながるネタを集めました。



#### 発見カードづくり

まち歩きで撮った写真について、「発見カード」を用いて自分の考えをメモにして整理し、わかる範囲で文献調査をし、他の人に伝えられる「発見」としてまとめました。

## 発表シートづくり

まちの「発見」をまとめるために、発見したものについての情報を調べ、発見カードに書き加えました。「発見したこと」を文章として整理したものを並べ、発表シートをつくりました。



## 発表

参加者全員の発表シートを壁に貼り、みんなの前で「発見したこと」を順番に発表しました。地図や色紙を用いたり、カラーペンでカラフルにしたり、どの発表シートも色々な工夫がされていました。



## 対話

みんなの発表を聞いて、話し合うテーマをみんなで「発見」に決めて、話し合いをしました。発表した内容について質問したり、「発見」することについて様々な意見が出て、「発見」への理解が深まりました。

